

「若者の
自立サポート」

DATA

有限責任事業組合 再生塾 YAR

〒534-0013 大阪府大阪市都島区内代町2-7-36
TEL 06-4305-7970
FAX 06-4305-7971
http://www.7a.biglobe.ne.jp/YAR/

LLP 再生塾 YAR (ヤー、大阪市都島区、2006 年設立) では、全米犯罪防止機構が開発した YAR (Youth As Resources の略) プログラムの「若者は本来価値ある人材だ」という理念に基づき、様々な問題を抱えた若者の自立支援を行っています。代表の吉見れいさんは行政マンとして主に人権問題に関わり、アメリカで YAR プログラムを学んだ後、元家裁調査官などのスタッフとともに再生塾 YAR をオープンしました。YAR プログラム、そして再生塾 YAR の支援活動について代表の吉見れいさんに伺いました。
(※ LLP: 有限責任事業組合)

メイコ 非行や不登校、リストカット、発達障害など、様々な問題を抱えて生きづらさを感じている青少年を、問題のある子という一言で片付けるのではなく、自分で再生の道を見つけてくれるように支援していくというのがアメリカの YAR プログラムの考え方なんです。

吉見 非行や少年犯罪など問題を持った子どもたちを矯正するとか更生させるという言い方がありますが、Youth As Resources では本来彼らは何か持っている、宝を持っているという考え方なんです。だから本来持っているものを引き出せなかったから今ちよつと歪んでいるだけだと、エネルギーを持っているんだという言い方をするんですが、そういう考え方でプログラム展開します。だから少年院などでも、ある程度安定してきた子どもには地域の中でボランティアな活動企画させる。自分が思いついて企画することの中に自

分の中の問題とか癒しのヒントがあつて、その中に自分の成長のヒントを見出していく、そういうチャンスを与えるプログラムなんです。そういう意味では誰もがやり直すチャンスは自分でつくれるということを信じているというプログラムなんです。

カンナ アメリカでは問題を抱えた青少年とその家庭に関わるあらゆる問題を、様々な NPO が包括的に支援する体制がとられていて、そこで展開されているプログラムも問題の数だけあると言ってもいいほどなんだそうです。例えば暴力防止プログラムや加害者・被害者和解プログラム、中退防止プログラム、家族の絆を強めるプログラム、職業トレーニング、虐待防止プログラム、家出・ホームレスシエルト、デート・レイプ根絶プログラム等々。これはほんの一部で、こうした NPO を政府もサポートしているそうです。

メイコ さて YAR プログラムの理念を元に「再生塾 YAR」ではどのようなサポートを行っているのかを伺いました。

吉見 非行とか不登校、対人関係に問題を持っている子どもなど、実際に来られる方は 10 代後半から 20 代前半の

方ですね。本人と話し合いながら、あるいは講師や役員と一緒に評価し合いながら、今どういう状況だから次にこう持っていってらどうかという話をしながらやっています。例えば自閉症の子などは週 1 回ここに来て、まず生活チェックからということで、発達障害の専門の先生をつけて生活の振り返りをしたりした子もいますし、保護観察の子もいます。一人ひとりまったくやっていることは違います。週 2 回勉強をしに来る子もいますし、本当にふらつと話をしにきてご飯を食べさせたり、お喋りしたり、時間をつくって話をするというだけのカウンセリグ的なことをやったりすることもあります。

カンナ 進学を希望する不登校の子どものためには、業務提携している通信制の高校や障害者の学習指導経験を持つ講師をお願いをして、勉強の支援にも対応できる態勢をとっているそうです。ある発達障害の若者は、ボランティア活動や就労体験を通して働くことへの自信をつけ、就労支援施設に通えるまでになったそうです。またここで勉強をして大学に進み、公務員試験に合格した人もいます。

メイコ こうした若者の立ち直りは福祉や教育の専門家だけでなく、

塾のある地域の商店街や町内会など、様々な大人たちのかかわりが非常に大きな役割を果たしているのだそうです。ある若者の立ち直りには電気工事やさんの存在が大きく影響したそうです。

吉見 ある子に電気工事を教えてやるからと誘って、やってもらったら結構上手で、その子は突然働くことに目覚めて自分が働けるイメージが見えたんですね。で、別の就労プログラムへ移行しました。個人にとって何が必要なのかといったときに、それは行政のサービスが必要であったり、インフォーマルなサービスが必要であったりするわけですよね。そういう個人に対してどういうコミュニティを形成するのかというソーシャルワークをしているつもり

です。そのことでその子の再生力が高まるといえるんですね。この地域で商店街の飲み屋さんやうちの塾生を映画に連れて行ってください、いちばん大事なのは、その子を肯定的に見てくれる愛情ある大人たちの存在じゃないかな。それを家庭の中で得られなかった子たちがこへ来ています。アメリカのNPOの理念は、もう一回コミュニティをつなげ直すという考え方なんです。で、そのためにはコミュニティが変わらなくてはいけません。排除したのはコミュニティ、私たちが再生するのではなくて、実は町が再生するというか、コミュニティが再生するというか、そういう理念もあります。



平成20年度助成事業の報告書

カンナ 「再生塾 YAR」では昨年度、WARM 基金の助成を受けて、子どもが親元から離れて生活するシェルターをつくり、その運営マニュアルも作成しました。全米には400以上の子どものためのシェルターがあるといいますが、日本では

まだ非常に限られた数しかありません。青少年の再生のためには罰するだけでなく、セカンドチャンスを与えるような支援を社会全体で行っていく必要があるのではないかと、吉見さんはおっしゃっています。やはり厳罰化の方向にいかないためには、いろんな再生プログラムをつくっていかねばならない。これは国だけではつくりきれないので、たくさんそういう子どもたちと接してきた人たちが、独自につくっていかないと出来上がらないものなので、そういうプログラムを育てていくということがまず日本にはいちばん大切だと思っています。

ユースシェルター創設及びマニュアル作成事業の概要

有限責任事業組合再生塾YARは、平成20年度子育て支援基金「特別分」の助成を受けて、ユースシェルター創設及びマニュアル作成事業を実施しました。

非行、虐待等様々な要因から、家庭にいられない、あるいは離れることが適切な状態にある若者のために危機介入プログラム、自立支援プログラムを実施するためのシェルターを創設し、同時に日本国内の若者自立支援を実施する施設の見学や、先進事例として米国のシェルター視察を行い、シェルター運営マニュアルを入手し、再生塾YAR版へと活用しました。

メイコのいきいきモーニング……毎週日曜日の朝TBS系列ラジオにて放送中

放送局

TBSラジオ (TBS)	954KHZ	(日)	7:40 - 7:55
北海道放送 (HBC)	1287KHZ	(日)	7:45 - 8:00
東北放送 (TBC)	1260KHZ	(日)	9:05 - 9:20
新潟放送 (BSN)	1116KHZ	(日)	7:00 - 7:15
中部日本放送 (CBC)	1053KHZ	(日)	7:40 - 7:55
毎日放送 (MBS)	1179KHZ	(日)	6:15 - 6:30
中国放送 (RCC)	1350KHZ	(日)	8:40 - 8:55
山陰放送 (BSS)	900KHZ	(日)	7:30 - 7:45
RKB毎日放送 (RKB)	1278KHZ	(日)	7:25 - 7:40
宮崎放送 (MRT)	936KHZ	(日)	7:45 - 8:00
琉球放送 (RBC)	738KHZ	(日)	7:00 - 7:15

*以上の11局ネットで放送しています。

長寿・子育て・障害者基金では、女優の中村メイコさんと作家の神津カンナさん親子の明るいトークで、高齢者・障害者の在宅福祉や生きがい・健康づくり、子育て支援、青少年の非行防止や健全育成、障害者スポーツなどをテーマにラジオ番組「メイコのいきいきモーニング」をいきいきとお伝えしています。

このコーナーは番組の放送内容からピックアップして誌上で再構成したものです。



TBSラジオ「メイコのいきいきモーニング」収録スタジオのメイコさん(左)とカンナさんです。